

# 製造現場を 改善する

## 現場改善で強いものづくりを



製造業部会 部会長  
**榊原公一氏**  
株式会社 小糸製作所  
代表取締役 副社長

静岡商工会議所製造業部会は、機械・電気・工業、食品、木材合板、エネルギー、木漆の6つの分科会を設けて、ものづくり産業の振興、地域活性化支援に取り組んでいます。

県内総生産のおよそ3分の1を占める静岡県の製造品出荷額は、16兆507億円（平成26年度）で愛知・神奈川・大阪に次いで全国4位となっております。事業所数は全国5位、従業者数では愛知・大阪に次いで全国3位と、ものづくりに関して本県は高い水準にあります。

静岡市統計書（平成27年度版）によると、本市の製造品出荷額では、多い業種別に、①電気機械器具6,367億円、②食料品2,392億円、③非鉄金属1,381億円の順で、続いて、④はん用機械器具1,171億円、⑤化学工業841億円、⑥金属製品807億円となっております。

このように静岡県・静岡市をリードする製造業は、高度な技術やものづくりが求められており、当製造業部会の主要事業のひとつとして静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所）が実施する「製造現場改善支援事業（委員長：二渡肇新産業開発振興機構アドバイザー）」の推進を図っております。

わたくしも委員を仰せつかっております。当支援事業は、企業が抱える課題解決から5S・安全管理などの作業現場の改善や製品・技術の高付加価値化を図るため、企業の優秀な技術者OBを中心とした専門アドバイザーを派遣し、静岡地域に集積する中小製造業者の競争力向上の強化を目的に実施しております。

平成22年度よりスタートした本事業も、この6年間で60件以上を数えることとなり、昨年度は、新たな試みとして成果が顕著に現れた事業所の中から、2社を表彰いたしました。

今回の製造業部会の特集は、前回に続き「製造現場改善支援事業」で、専門アドバイザーによる支援を受け、品質向上や5Sなどに取り組みされた企業のご紹介をいたします。